

東北海区沿岸水温予報(2014年)

海域	経過 (1~3月)	現況(3月下旬~ 4月中旬)	見通し (4~6月)	見通しの背景	特異現象 (漁獲)
三陸北部 (青森県太平洋沿岸; 青森水総研発表)	●定置水温 1月から3月まで、平年並みから極めて低く推移 ●定線観測 3月の太平洋沖合定線観測で津軽暖流の0m層は「極めて低い」、50m層は「低い」、100m層は「やや低い」。日本海の沖合観測で、対馬暖流の0m層、50m層、100m層共に「やや低い」	●定置水温 「低い」から「極めて低い」で推移。 ●定線観測 4月の日本海沿岸定線観測で、対馬暖流の0m層、50m層、100m層共に「平年並み」	「やや低い」から「低い」で推移すると予想。	日本海の定線観測では、水温は平年並みに近づいたものの、太平洋側では低水温の沿岸親潮の影響が残っているため。	4月上旬から太平洋沿岸定置網等にキタミズクラゲが大量入網。
三陸中部 (岩手県沿岸; 岩手水セ発表)	【1月】 表面水温 距岸10海里内は「県北部から県中部にかけて「やや低い」のほかに「平年並み」。距岸10海里以東はドクヶ崎沖県中部以南が「やや高い」~「高い」のほかに「平年並み」。 100m深水温 距岸10海里内は県北部が「平年並み」、県中部以南が「やや低い」。距岸10海里以東は、県北部が「平年並み」に対して県中南部沖合が「やや高い」。 【2月】 表面水温 距岸10海里内は「やや高い」~「平年並み」。距岸10海里以東は全域「やや高い」。 100m深水温 距岸10海里内は県北部が「平年並み」のほかに「やや高い」。距岸10海里以東は、「やや高い」~「高い」。 【3月】 表面水温 距岸10海里内は、県北部が「低い」のほかに概ね「平年並み」。距岸10海里以東は、県北部が「やや低い」、県中部以南が「やや高い」。 100m深水温 距岸10海里内は県北部が「やや低い」、県南部が「やや高い」のほかに「平年並み」。距岸10海里以東は県中部以南が「やや高い」のほかに「平年並み」。	表面水温 距岸10海里以内は、県北部~県南部にかけて「やや低い」~「極めて低い」。距岸10海里以東は県南部40~50海里が「平年並み」のほかに概ね「やや低い」。 100m深水温: 距岸10海里以内は「やや低い」~「低い」。距岸10海里以東は、県北部~県中部の沖合30海里付近と県中部~県南部の沖合50海里付近が「やや高い」のほかに「平年並み」。	県中南部沿岸域が「やや低い」のほかに「平年並」と予測。	農林水産省「食料生産地域再生のための先端技術展開事業」において開発した統計的予測モデルによる。	沿岸親潮水の流入拡大と5℃以下の冷水接岸が長期化。 いさだ漁は低調な水揚げ。
三陸南部 (宮城県沿岸; 宮城水セ発表)	<1月> 『38° 50' N、142° 30' E 付近の表面に暖水が波及し、平年より3℃高め、100m深では38° N、142° 30' E付近で平年より2℃低めとなった。』 【表面水温】 本県の沿岸から沖合の表面水温は 7~12℃台となった。概ね平年並みだが、38° 50' Nラインの 142° 30' E以西で暖水の波及が見られ、平年よりも1~3℃高くなった。 【100m深水温】 100m深水温については 6~11℃台となった。概ね平年並みだが、38° Nラインの 142° 30' E付近で平年よりも2℃低めとなった。 <2月> 『仙台湾表面水温は平年並みから低めとなった。』 【表面水温】 仙台湾は6~9℃台で、平年並み~低めであった。 <3月> 『本県の沿岸の表面水温は6~7℃台で平年並みだが、雄勝沖は暖水塊の影響で平年よりも1~2℃高めとなった。』 【表面水温】 宮城県沿岸の表面水温は6~7℃台となっており、概ね平年並みとなった。 【100m深水温】 雄勝沖の100m深水温は7.5~7.7℃となっており、三陸沖の暖水塊の影響で平年と比較して1~2℃高めとなった。	<4月> 親潮系冷水の影響を受け、本県沖合は平年よりも水温が低くなっている。 【表面水温】 宮城県沿岸から沖合海域の表面水温は3~9℃台となっており、平年より概ね1~3℃低くなっている。 【100m深水温】 巨理沖ライン(38° Nライン)の100m深水温は3~7℃台となっており、平年より2~3℃低めとなっている。	<5月> 38° 50' Nライン(気仙沼沖)、38° 30' Nライン(雄勝沖)及び38° Nライン(巨理沖)は沿岸から沖合まで平年並みで推移する。 <6月> 38° 50' Nライン(気仙沼沖)は142° 10' E以西は平年並み、142° 30' E以東はやや高めで推移する。 38° 30' Nライン(雄勝沖)は142° 10' E以西は平年並み、142° 30' E以東はやや高めで推移する。 38° Nライン(巨理沖)は141° 50' E以西は平年並み、142° 10' E以東はやや高めで推移する。	水温経験的予測システムの主成分スコア自己回帰モデルによる予測	コウナゴ好漁

<p>常磐北部 (福島県沿岸; 福島水試 発表)</p>	<p>表層、100m 深とも 1.2 月は平年並みで推移し、3 月は塩 屋埼定線のみの観測となったがやや高めであった。</p>	<p>天候及び代船の作動確認等で観 測を予定通り実施しておらず詳細 な海況は不明である。 衛星画像、航行水温などから表層 水温について推測すると、3 月下 旬は黒潮系暖水が波及していた が、4 月上旬に親潮系冷水の波及 が強まり、4 月中旬まで宮城県境 に強い潮目が形成される状態が 続いている。</p>	<p>平年並み～高め基調で推移す るが、6 月の相馬海域は低め基 調となる。</p>	<p>気象庁の 1 カ月予報(4/18 発表)に おいて、親潮先端は 39N、143.5E 付近、面積は平年よりかなり大き く推移すると予測されている。 までの予測をみると、いわき海域 を中心に黒潮系暖水の波及が強 まり、親潮系冷水は 5 月中旬に岩 手県沖、6 月中旬に本県と宮城県 境に波及することが示唆されてい る。 気象庁の予報及び FRA-ROMS を 併せてみると、親潮系冷水の波及 は宮城県境の 143E より沖合にな り、沿岸はいわき、双葉海域を中 心に黒潮系暖水の波及を受けると 思われる。相馬海域は 6 月に親潮 系冷水が波及すると思われる。</p>	<p>いわき市小名浜に おける 2 月中旬の 定地水温は平年よ り 2～3℃低めで 推移した。 いわき市沿岸に おいて 4 月に採捕 されたカタクチイ ワシシラスの一部 に、マイワシシラ スが数%程度混 入している。</p>
<p>常磐南部 ～鹿島灘 (茨城県沿 岸; 茨城水試 発表)</p>	<p>1 月上旬は、表層は暖水波及の影響により「平年並～高 め」、下層は東経 141° 30′ 以西で「平年並」、東経 141° 30′ 以東の北部では冷水南下の影響により「低め基調」、 同南部では黒潮流路に位置したため「高め基調」であ った。 2 月上旬は、表層・下層とも広い海域で「平年並」にな ったが、沿岸では真潮(北向きの潮流)の影響により「やや 高め」、黒潮流路が位置する県南部沖合で「高め」、鹿島 沖の一部海域では「低め」であった。 3 月上旬は、2 月下旬より暖水が波及し、広い範囲で「や や高め～極めて高め」であった。冷水南下の影響が残る 極沿岸の表層および北部沿岸下層では「やや低め～平 年並」であった。</p>	<p>4 月上旬は、表層・下層とも暖水波 及により広い海域で「やや高め～ 高め」となったが、極沿岸部では 「平年並」となった。</p>	<p>「高め基調」で推移するが、極 沿岸部では「平年並」となる。</p>	<p>FRA-ROMS によると、5 月上旬に は黒潮本流が 37° N まで北上して おり、本県沖に暖水波及の影響が あることが推測される。 一方気象庁の 1 ヶ月予報では、親 潮の面積は平年よりかなり大きめ と予想されることから、親潮系冷水 が沿岸に沿って南下し、本県極沿 岸部に波及すると予測。</p>	<p>本県沿岸全域で シラスが好漁。</p>

各階級の水温平年偏差の範囲

階級区分(出現率)	三陸北部	三陸中部		三陸南部	常磐北部	常磐南部～鹿島灘
		距岸 10 海里内	距岸 10～70 海里			
極めて高い (2.5%)	+2.4℃～	+4.0℃～	+6.0℃～	+2.4℃～	+4.0℃～	+4.0℃～
高い (7.5%)	+1.6～+2.3℃	+2.5～+3.9℃	4.0～+5.9℃	+1.6～+2.3℃	+2.5～+3.9℃	+2.5～+3.9℃
やや高い (20%)	+0.7～+1.5℃	+1.0～+2.4℃	1.5～+3.9℃	+0.7～+1.5℃	+1.0～+2.4℃	+1.0～+2.4℃
平年並 (40%)	+0.6～-0.6℃	+0.9～-0.9℃	1.4～-1.4℃	+0.6～-0.6℃	+0.9～-0.9℃	+0.9～-0.9℃
やや低い (20%)	-0.7～-1.5℃	-1.0～-2.4℃	1.5～-3.9℃	-0.7～-1.5℃	-1.0～-2.4℃	-1.0～-2.4℃
低い (7.5%)	-1.6～-2.3℃	-2.5～-3.9℃	4.0～-5.9℃	-1.6～-2.3℃	-2.5～-3.9℃	-2.5～-3.9℃
極めて低い (2.5%)	-2.4℃～	-4.0℃～	-6.0℃～	-2.4℃～	-4.0℃～	-4.0℃～